

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス もくせいクラブ		公表日		7年 3月 26日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3	6	小グループに分けた活動や屋外に出る活動、法人内の他事業所の施設などを利用しながら工夫しています。	・状況によってはあと1部屋必要だと思います。 ・トイレ介助の時、個人差もありますが、狭いと感じます。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9	1			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9	1		トイレに関しては、元々の構造の作りで段差は無いですが、車椅子で入るのは難しいです。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	3	日々の消毒、清掃は欠かしていません。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	3	子供達は、事務所と台所以外は自由に使用が可能となっていますが、個別の部屋は建物構造上確保できず、パーテーション等で対応しています。	部屋が少ない。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	4	毎日のミーティング、週1回以上の打ち合わせを含めた話し合い、長期休暇前に全体のミーティングを行っています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	1		保護者評価は毎年行っていますが、ハード面の対応はできていない状況です。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	3	日々のミーティング、週1回以上のミーティング、長期休暇前及び年度末等の節目に機会を設けています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	2		第三者の外部評価は受けておりません。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	10		権利擁護を含めた法人内外の研修に参加する機会や、事業所内で研修を開催する機会を設けています。		
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	2	公表は遅くなりましたが、公表しています。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	10		相談支援事業や行政等の協力を仰ぎながら、保護者または子ども本人からのアセスメントを実施しています。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	2			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	2		細部まで共有できていない事もある為、しっかり共有を図っていきます。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	1	相談支援事業所と共通したアセスメントのフォームを使用しています。日々の行動観察を含めたインフォーマルなアセスメントは大事にしています。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9			支援内容の設定はできているが、それが実行・達成に至っていない所もありますので、今後も目標に向けて取り組んでいきます。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9	1	非常勤は勤務時間の都合上難しいが、常勤職員とは、一緒に確認して立案しました。		

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
支援の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	1	月の活動案、週の活動プログラムを常勤の職員と意見を出し合って組み立てています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	10			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10		毎日、支援開始前にミーティングを行っています	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	4	全員揃っては勤務時間のバラつきもあって難しいですが、その日の支援内容や子供の様子を振り返っています	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	7	1		
関係機関や保護者との連携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	2	活動自体を複数設定はしていますが、人数の偏りを防ぐためと職員配置もある為、活動の選択は無いですが、屋外活動の行き先等、細かな部分を選ぶ機会を設けています。おやつも選択式にしています（2択）	しっかりとした注視力を身に付けなければいけないと自問しております。
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	10		行政や学校を交えた話し合いを定期的に行っています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	9	1	送迎時、及び電話連絡等で、様々な連絡調整をさせていただいています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	9	1	相談支援事業所に仲介していただいたり、直接連絡を取ったりしながら、情報共有させていただいています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	8	1	相談支援事業所、及び学校に仲介していただいたり、直接連絡をとったりしながら引き継ぎ等を行っています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	9		児童発達支援センターが法人内にあるため、助言を求めたり、児発センター主催の研修に参加させていただいています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	6	児童クラブや児童館との交流はまだできていませんが、活動中、ドッジボール等を地域の子どもを誘ってする事もあります。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	9		日向市、東臼杵郡、障がい者自立支援協議会の日向市地域課題検討会、放課後等デイサービス事業所連絡会に委員として参画しています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	10		送迎時や帰りのお迎えの際に日々の出来事を報告したり、連絡帳でやり取りしたり、定期的に話し合いもしています。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	4		ペアレントトレーニングや家族に向けた研修はまだできておりません。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	1		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9		アセスメントの聞き取り時やモニタリング時に確認させていただいています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9			

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10		トラブル等あった際は、電話連絡や家庭訪問を行ったり、相談支援事業所と連携しながら話し合う機会を持たせていただいています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	7		保護者会は学校のPTA活動もあるため、設けていない状況です。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10			相談支援事業所や行政に介入していただく等しながら対応させて頂いていますが、まだまだ努力が必要と思っています。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	9		毎月「おたより」を発行しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9		できる限り難しい言葉などを控えて、時には写真や文書で示す等の対応をさせて頂いています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	7		地域の方が参加できるような行事を行っていません。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	10			マニュアルは策定していますが、周知が不十分な部分もあるので、今後努力していきます。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10		BCPを策定し、それに応じた訓練を行っています。避難訓練に関しては毎月実施しています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	10		利用開始前のアセスメント時に必ず確認させて頂いています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	10		医師の指示書をいただいている児童はいませんが、保護者を介して漏れなく把握して、アレルギー食の提供を廃止しています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9	1		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9	1		家族等へしっかり周知が出来ているかは、不完全であるため、今度も周知していきます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10		法人内で行う権利擁護研修（年3～4回）や、法人外で行われる権利擁護研修に全職員年1回必ず受講するようにしています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9	1	同意書も併せて取っています。		